



20

この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2020年9月20日号

編集 / 毎日新聞社販売局D・クリエーションセンター

検証+
新型
コロナ

経済対策はなぜ遅れたか

22日(火) = 特集面



「遅すぎる。少なすぎる」——。政府の新型コロナ対策では、経済活動や雇用、暮らしを守るための緊急経済対策に対し、国民からこんな批判が相次いでいます。

方針が二転三転し、自治体の窓口に混乱を招いた一律10万円の給付金。時短営

業で窮地に陥った飲食店への遅れた休業支援。いまだに迷走するGoToキャンペーン……。対策はなぜ後手に回り続けているのでしょうか。

営業や市民活動の自粛で経済活動は停滞し、景気回復への道筋は今なお見えてきません。地域では中小・

零細事業者の倒産や自主廃業が相次いでいます。菅新政権はこの流れを変えられるのでしょうか。

関係者の証言などをもとに、さまざまな経済対策の立案の経緯と課題を検証します。

特集 **ワイド**

「Dr. 白澤 100歳への道」 最終回スペシャルインタビュー

24日(木) = 夕刊特集ワイド



アンチエイジング研究の第一人者でお茶の水健康長寿クリニック（東京都千代田区）院長の白澤卓二医師（62）＝写真＝が、国内外の最新研究から100歳まで健康寿命を保つコツをひも解く連載「Dr. 白澤 100

歳への道」が24日、最終回を迎えます。2012年7月から400回以上にわたったコラムを白澤医師に振り返ってもらい、健康長寿の秘けつや認知症予防のためのポイントを聞きました。

人生100年クラブ



小説を書きたい

27日(日)
＝くらしナビ面

文学新人賞への応募作は増加傾向で、小説を書きたいという人が増えています。でも、いざ書こうとして途方に暮れる人も多いのでは？ 講師を務めた小説講座から芥川賞作家を輩出した、編集者の

根本昌夫さん（67）がシニア世代にアドバイス。「まず仕事のことを。何が一番印象に残って、それはなぜかを深掘りしていく。知っていることを書くのが一番楽しい」



異変のシグナル 排ガスとぜんそく

22日(火) = くらしナビ面

ス自動車による大気汚染が原因でぜんそくが増えている。自動車の排ガスは、ぜんそくの原因の一つとして知られている。近年は、自動車の排ガス規制が厳しくなっている。しかし、自動車の排ガス規制だけでは、ぜんそくの原因を完全に排除することはできない。そのため、自動車の排ガス規制だけでなく、大気汚染の対策を講じる必要がある。

都市部では、自動車の排ガスによる大気汚染が、ぜんそくの原因の一つとして知られている。近年は、自動車の排ガス規制が厳しくなっている。しかし、自動車の排ガス規制だけでは、ぜんそくの原因を完全に排除することはできない。そのため、自動車の排ガス規制だけでなく、大気汚染の対策を講じる必要がある。

都市部では、自動車の排ガスによる大気汚染が、ぜんそくの原因の一つとして知られている。近年は、自動車の排ガス規制が厳しくなっている。しかし、自動車の排ガス規制だけでは、ぜんそくの原因を完全に排除することはできない。そのため、自動車の排ガス規制だけでなく、大気汚染の対策を講じる必要がある。



「オンラインイベント」なるものに、この頃よく参加していました。ラジオを聴くような気軽な気持ちで参加できるのが、傍観しているよりも、自分自身も一人の登壇者として一緒に話をしているような不思議な感覚になることもあります。毎日新聞でも定期的にオンラインイベントを開催しています。10月6日には、著書「歪んだ正義」の大治朋子専門記者によるトークイベントを開催します。「調査報道のプラットフォーム」の話が聞ける貴重な機会をおすすめです！（高橋将平）

※都合によっては掲載日や内容を変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。